

フィックスパウダー：改質アスファルト混合物用プラントミックス材

昭和瀝青工業株式会社

概要

フィックスパウダーは熱可塑性エラストマーを主材とした、マルチタイプのプラントミックス材で、舗装の耐流動性を向上させます。

ストレートアスファルトをベースバインダーとすることでポリマー改質アスファルト 型、H型に、レジフィックス (ポリマー改質アスファルト 型)をベースバインダーとすることで、ポリマー改質アスファルト 型、H型に対応できます。

取扱いや貯蔵に便利なペレット状なので、プラントでの在庫に適しています。

特徴

- ・1種類でポリマー改質アスファルト 型、型、H型に対応可能(マルチタイプ)
- ・少量の混合物製造に対し、柔軟な対応が可能
- ・常温貯蔵可能で、特別な在庫管理不要

用途

- ・耐流動密粒舗装、排水性舗装
- ・少量の改質アスファルト混合物出荷対応
- ・プレミックス改質アスファルトの配送困難な地域対応(離島等)

用法

- ・混合物製造 Dry Mix 時に添加し、混合時間を数秒長くして下さい。
- ・使用時には、使用されるベースバインダーを用いた混合物配合にて、事前に混合物性状ならびに添加量を確認した上でご使用下さい。

荷姿

- ・25kg 箱(1kg × 25 パック)



写真-1. フィックスパウダー

表-1. フィックスパウダーの一般性状

外観・形状	ペレット状 ダークブラウン
比重	0.98

表-2. フィックスパウダーの添加量(推奨)と対応改質アスファルト

対応改質アスファルト	ベースバインダー	添加量(%) (内割)
改質 型	ストアス 60-80	8.0
改質 H 型	ストアス 60-80	12.0
改質 型	レジフィックス 1	4.0
改質 H 型	レジフィックス 1	6.0

1：弊社ポリマー改質アスファルト 型

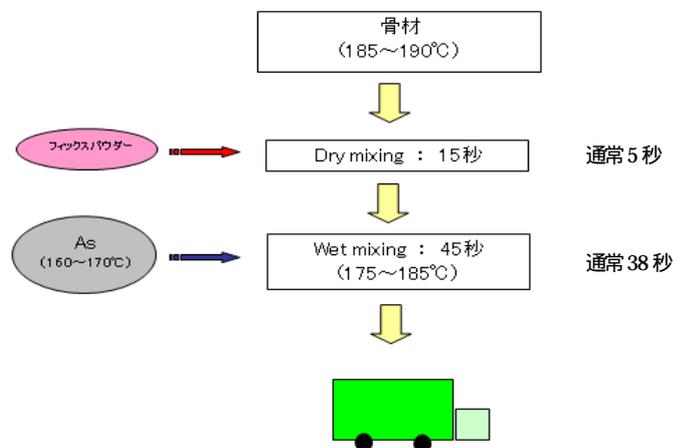


図-1. 使用条件例:改質 型密粒混合物

バインダーおよび混合物性状例

表-3. フィックスパウダーを使用した改質 型、 型、 H 型相当の性状例

		改質 型	改質 H 型	改質 型	改質 H 型	標準的性状 ³		
配 合	ベースバインダー	ストアス 60-80		レジフィックス		改質 型	改質 型	改質 H 型
	フィックスパウダー(%)	8.0	12.0	4.0	6.0			
針入度(25) 1/10mm		47	47	46	40	40 以上		
軟化点		58.0	83.5	83.0	90.0	56.0 以上	70.0 以上	80.0 以上
伸度(15) cm		86	74	100+	93	30 以上	50 以上	50 以上
タフネス(25) N・m		31.0	30.8	35.3	24.6	8.0 以上	16.0 以上	20.0 以上
テナシティ(25)N・m		23.9	-	-	-	4.0 以上	-	-
密度 g/cm ³		1.033	1.027	1.031	1.031	付記		
推奨混合温度範囲		175 ~ 185	175 ~ 185	175~185	175~185	付記		
推奨締固温度範囲		155 ~ 165	150 ~ 165	160~170	150~165	付記		

3：舗装設計施工指針（H18.2）

施工例

耐流動アスファルト混合物(改質 型相当 密粒(20))施工例 現場：沖縄県宮古島市



施工前

耐流動対策として施工したフィックスパウダー使用舗装(改質 型相当)は施工 2 年後も良好な状態を保っています。

○： 耐流動アスファルト混合物施工部分
(直進レーン及び右折レーン)



施工直後



施工 2 年後

写真-2. 施工現場の路面状況(密粒(20))



施工直後

○ : ポーラスアスファルト混合物施工部分
(バス停)



写真-3. 施工現場の路面状況(排水性(13))

使用上の注意

- ・フィックスパウダーの性能を十分に発現するために、混合物の混合温度・締固温度等の混合条件の確保に十分ご注意ください。
- ・フィックスパウダーは高温・多湿を避け、直射日光や風雨の影響を受けないよう、屋内で常温保管してください。
- ・ベースアスファルトが異なると、フィックスパウダーを使用した各種改質アスファルトの性状が異なる場合があります。ベースバインダーを弊社品以外でお考えの場合は、お気軽にご相談ください。